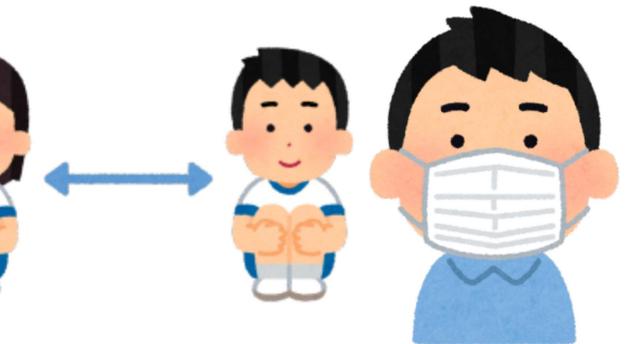


いつもの夏休み

昨年は、コロナ休校の関係で、七月末まで一学期でしたが、今年は平常どおり明日から八月二十四日まで夏季休業となります。



日々報道される感染者数や、各地での緊急事態宣言など、一見すると昨年よりも状況は悪化していると言えるかもしれないませんが、去年と大きく違うのは敵（コロナ）のいろいろな特徴が明らかになって、一定の水準の対策をすれば、感染の可能性が低くなるということが少しずつわかってきたことです。

昨年はそれがなかなかわからず、集団生活の学校は休校措置で人流を断つという方法となったわけですが、今年は各種集会や部活動、体育祭や遠足・修学旅行について、コロナ対策を十分にしながら

実施するといことができるようになりました。あ、修学旅行での枕投げは、コロナであろうとなかろうと禁止ですよ。

茶道部の活動

先日、いわき地区の高校茶道部が一堂に会する（一堂とはいっても時間等をずらすコロナ対策済み）合同発表会が催されました。



本校にも茶道部があります。勿来高校単独で活動できる数少ない部活動の一つです。

合同発表会に先立ち、日頃の練習、もとい、お点前を披露する校内の発表会を行いました。

お客様には、くぼた校の生徒さんを迎えながら、良いお席となりました。

正客のくぼた校の生徒さんにお作法どおり、深々と頭を下げる動作一つにも、亭主のもてなしの心が感じ取れます。素晴らしいお点前でした。



学年に合わせて

○保健講話



夏になり、心身ともに開放的になる季節を前に、本校一年生を対象に、「医療現場から見た十代の性」とを中心に「〜」という講演題にて、福島県立医科大地域産婦人科支援講座の本多つよし先生にご講話を頂きました。



人工妊娠中絶がどんな手術なのかの説明、母胎への影響、その後高い確率で再度中絶を行うことが多い実態や、実際の画像を交えて性感症の恐ろしさをお話し頂くなど、医療現場からのメッセージとして分かり易くお話し頂きました。

○進路ガイダンス



一方、三年生は求人票公開後初めて進路ガイダンス（社会人講話・職業講話）が行われました。

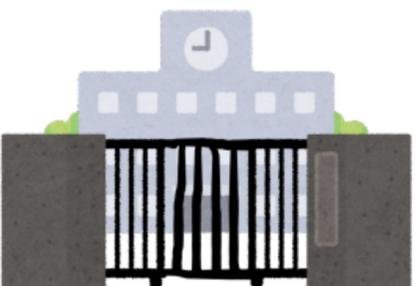
社会人講話では、株式会社勿来製作所の遠藤様から、企業が求める人物像、就職活動や採用試験のポイント、さらに仕事内容やワークライフバランスについてお話をしていただ

きました。



また、キャリアコンサルタントの諸岡様に模擬面接を行っていただき、面接試験の注意点をご指導いただくことも、お辞儀の仕方など、基本的な姿勢を一から教えていただきました。求人票をいくつも比べ、足繁く進路指導室に通うようになってきた三年生にとって、より身近に就職活動を考え、仕事への意識が高まるよい機会となりました。

学校閉庁日



本県では、子どもたちが安心して学べる環境づくりや、保護者が信頼して子どもを預けられる環境づくりのため、教職員自らが自己研鑽する時間と、教職員が子どもとじっくり向き合う時間の確保が必要であるとの考えから、多忙化解消の一環として学校閉庁日を定めるよう取り組んでいます。

本校では学校閉庁日を八月十日より同月十三日までの四日間としましたので、地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

校長のつぶやき

載せきれず、次号に回す話題もあり、コロナ禍でも、日常を心がけて活動できる幸せを実感しています。